

# 人類学・人間学がわかるコーナー

推薦者	文学部人間関係学科 竹川 大介先生		
ねらい	人類学は人間について研究する学問です。進化論・生物学・脳科学・宗教学・心理学・考古学・言語学・哲学・経済学・社会学・地理学・民族学・文化論など、人類学ではさまざまな学問領域を横断しながら「人間とは何か」を明らかにしていきます。ここに紹介した本は、そんな人類学の輪郭にふれるためのお薦めの本です。		
配架資料名	<p>【人-1】 人間らしさとはなにか？ 人間のユニークさを明かす科学の最前線</p> <p>【人-2】 共感の時代へ 動物行動学が教えてくれること</p> <p>【人-3】 歌うネアンデルタール</p> <p>【人-4】 なぜ私たちは友だちを作るのか</p> <p>【人-5】 ヒトは&lt;家畜化&gt;して進化した</p> <p>【人-6】 ストーリーが世界を滅ぼす</p> <p>【人-7】 ラインズ 線の文化史</p> <p>【人-8】 光車よ、まわれ！（ポプラ文庫ピュアフル）</p> <p>【人-9】 なぜ私は私であるのか 神経科学が解き明かした意識の謎</p> <p>【人-10】 人はなぜ恋に落ちるのか？ 恋と愛情と性欲の脳科学</p> <p>【人-11】 イヴの七人の娘たち</p> <p>【人-12】 人類大図鑑</p> <p>【人-13】 エピデミック</p> <p>【人-14】 この6つのおかげでヒトは進化した つま先、親指、のど、笑い、涙、キス</p> <p>【人-15】 たえる・きざす（生態人類学は挑むシリーズ）</p> <p>【人-16】 身体の零度（講談社選書メチエ）</p> <p>【人-17】 自由を耐え忍ぶ</p> <p>【人-18】 逝きし世の面影</p> <p>【人-19】 精霊の王</p> <p>【人-20】 野生性と人類の論理: ポスト・ドメスティケーションを捉える</p>	<p>マイケル・S・ガザニガ</p> <p>フランス・ドゥ・ヴァール</p> <p>スティーヴン・ミズン</p> <p>ロビン・ダンバー</p> <p>ブライアン・ヘア ヴァネッサ・ウッズ</p> <p>ジョナサン・ゴットシャル</p> <p>ティム・インゴルド</p> <p>天沢 退二郎</p> <p>アニル・セス</p> <p>ヘレン・フィッシャー</p> <p>ブライアン・サイクス</p> <p>ロバート・ウィンストン</p> <p>川端 裕人</p> <p>チップ・ウォルター</p> <p>伊藤 詞子（編集）</p> <p>三浦 雅士</p> <p>テッサ・モーリス-スズキ</p> <p>渡辺 京二</p> <p>中沢 新一</p> <p>卯田 宗平</p>	<p>インターシフト</p> <p>紀伊國屋書店</p> <p>早川書房</p> <p>青土社</p> <p>白揚社</p> <p>東洋経済新報社</p> <p>左右社</p> <p>ポプラ社</p> <p>青土社</p> <p>ソニー・マガジズ</p> <p>ソニー・マガジズ</p> <p>ネコ・パブリッシング</p> <p>角川書店</p> <p>早川書房</p> <p>京都大学学術出版会</p> <p>講談社</p> <p>岩波書店</p> <p>平凡社</p> <p>講談社学術文庫</p> <p>東京大学出版会</p>